## 「解けない」を「解ける」にする冬です!

# 高校数学·冬期講習会

「解ける」ようになりたいセクションの□を■に塗りつぶし、「解ける」ようになりたい項目に○をつけて受講を申し込んで下さい。 その項目を学習する教材を用意し、個別に指導します。(「解けない」を驚くほど「解ける」に変えてしまう超教材です。) 在籍学年に関係なく、だれでも、どの単元でも指導を受けることができます。

# 高校数学 ||

## 第1章 いろいろな式

- 【1】整式の乗法・除法と分数式
  - □§1 3次の乗法公式
    - (1) 3次の乗法公式<①(a+b)³, ②(a+b)(a²-ab+b²)>, (2) 3次式の因数分解
  - □ § 2 整式の除法,約数と倍数
    - (1) 整式の除法<①余りを求める、②特定の文字についての整式の除法、整式の商と余り>、(2) 整式の約数・倍数
  - □§3 分数式の計算
    - (1) 分数式, 既約分数,(2) 分数式の乗法・除法,(3) 分数式の加法・減法,部分分数に分解,(4) 繁分数式
  - □ § 4 二項定理
    - (1) パスカルの三角形,(2) 二項定理<①展開式,②二項定理と係数決定>,
    - (3) 二項定理の応用<①多項定理と係数決定、定数項、②等式の証明、③n桁の数の決定と二項定理、④nで割ったときの余りと二項定理>

## 【2】式と証明

- □ § 1 恒等式
  - (1) 係数比較法
- □ § 2 等式の証明
  - (1) 等式の証明,(2) 条件つきの等式の証明,(3) 比例式の条件つきの等式の証明
- □§3 不等式の証明
  - (1) 不等式の証明(2) 相加平均と相乗平均(3) 混合のついた不等式(4) 絶対値を含む不等式

## 【3】高次方程式

- □ § 1 複素数
  - (1) 複素数,(2) 複素数の相等,(3) 複素数の計算<①加法・減法・乗法,②除法>,(4) 負の数の平方根を含む計算
- □ § 2 2次方程式
  - (1)解の公式、(2)解の判別
- □§3 2次方程式の解と係数の関係
  - (1) 2次方程式の解と係数の関係、(2) 2つの解の関係、(3) 2次式の因数分解、(4) 2数を解とする2次方程式、
  - (5)解の符号
- 口§4 剰余定理と因数定理
  - (1) 剰余定理<①1次式で割った余り、②2次式で割った余り>、(2) 組立除法、(3) 因数定理
- □§5 高次方程式
  - (1) 高次方程式<①因数分解の公式の利用,②置きかえの利用,③複2次式因数分解の利用,④因数定理の利用,
  - ⑤高次方程式の解き方のまとめ>
  - (2) 3次方程式と虚数解<①複素数の相等の利用、②3次方程式の解と係数の関係の利用、③次数を下げる方法と3つの方法のまとめ>、
  - (3) 1の3乗根, (4) 2重解をもつ3次方程式, (5) 解の対称式

## 第2章 図形と方程式

- 【1】点と直線
  - □§1 直線上の座標

(1) 数直線上の内分・外分

#### 口§2 平面上の点の座標

- (1) 平面上の点の座標, (2) 平面上の2点間の距離, (3) 2点から等しい距離にある点, (4) 座標を利用した証明,
- (5) 平面上の内分・外分、(6) 対称な点、平行四辺形、(7) 三角形の形状

#### □§3 直線の方程式

(1) 直線の方程式,(2) 直線の方程式の利用

#### □§4 2直線の平行·垂直

- (1) 2直線の平行・垂直、(2) 垂直二等分線、(3) 点と直線の距離、(4) 三角形の面積、(5) 定点を通る直線、
- (6) 三角形をつくらない条件

## 【2】円と直線

#### □§1 円の方程式

- (1) 標準形と一般形, (2) 条件を満たす円の方程式, 外接円の方程式と外心,
- (3) 座標軸に接する円の方程式,直線上に中心をもつ円の方程式,(4) 方程式が円になる条件,
- (5) 方程式の表す図形

#### 口§2 円と直線

- (1) 円と直線の共有点の座標,(2) 円と直線の位置関係<①円と直線の共有点の個数,②直線の決定>
- (3) 弦の長さ、(4) 円の接線<①直線の方程式、②円外の点から引いた接線の方程式>

#### □ § 3 研究

- (1) 2直線の交点を通る直線,(2) 2円の交点を通る直線,
- (3) 2円の位置関係<①2円が接する場合、②2円が異なる2点で交わる場合>

## 【3】軌跡と領域

#### □ § 1 軌跡

(1) 直線・円, (2) 放物線, (3) アポロニウスの円, (4) 連動点の軌跡<①軌跡が円・放物線, ②重心の軌跡>

#### □ § 2 不等式の表す領域

- (1) 直線で分けられる領域、(2) 円周で分けられる領域、(3) 放物線で分けられる領域、
- (4) 連立不等式の表す領域<①連立不等式の表す領域、②絶対値を含む不等式の表す領域、③AB>0、AB<0の表す領域、
- ④領域を不等式で表す>,(5)領域における最大・最小,(6)領域を利用した証明,
- (7) 通過領域の問題<①直線の通過領域、②曲線の通過領域、③点が動く範囲、④通過領域の問題のまとめ>

# 第3章 三角関数

## 【1】一般角の三角関数

## □§1 一般角

(1) 一般角, (2) 角  $\theta$  の動径

#### □ § 2 弧度法

(1) 弧度法,(2) 扇形の弧の長さと面積

#### □§3 一般角の三角関数

(1) 三角関数の値

#### □ § 4 三角関数の相互関係

- (1) 三角関数の相互関係,(2) 三角関数の式の値,(3) 三角関数を含む等式の証明,
- (4) 三角関数の性質<①関数の値を求める、②鋭角の三角関数で表す>

#### □§5 三角関数のグラフ

- (1)  $y = \sin \theta$   $\mathcal{O}(5)$   $\mathcal{O}(5)$
- (4)  $y = asin(b \theta p)$ のグラフ,  $y = sin \theta + q$ のグラフ

#### □ § 6 三角関数を含む方程式·不等式

- (1) 三角関数の値から角を求める,(2) 三角関数を含む方程式,(3) 三角関数を含む不等式,
- (4) 三角関数を含む方程式・不等式 < ①sin θ とcos θ の混合2次式, ②角が(k θ ± α)の式>
- (5) 三角関数の最大・最小<混合2次式の最大値・最小値>

## 【2】三角関数の加法定理

#### □§1 三角関数の加法定理

(1) 加法定理<①度数法 $\cdot$ 弧度法、②  $\alpha \pm \beta$  の三角関数の値>,(2)2直線のなす角

#### □§2 2倍角·半角の公式

- (1) 2倍角の公式, 3倍角の公式, (2) 半角の公式, (3) 2倍角を含む方程式, (4) 2倍角を含む不等式,
- (5) 三角関数の最大・最小

#### □§3 三角関数の合成

(1) 三角関数の合成、(2) 三角関数の最大・最小<三角関数を合成して>、(3) 合成を含む方程式・不等式

## 第4章 指数関数と対数関数

#### 【1】指数と指数関数

#### □§1 整数の指数法則

(1) 指数法則,(2) 累乗の乗除算

#### □ § 2 指数の拡張

- (1) 累乗根,(2) 有理数の指数<①累乗根を分数の指数で表す,②指数が分数の式を簡単にする,③指数が分数の式の計算,
- ④累乗根を含む式の計算、⑤2重根号を含む式の計算>、(3) 展開公式を利用した式の計算、(4) 指数で表された式の値

## □§3 指数関数

- (1) 指数関数のグラフ、(2) 累乗、累乗根の大小関係、(3) 指数方程式 <①指数方程式、②おきかえの利用、③連立方程式>、
- (4) 指数不等式 < ①指数不等式, ②おきかえの利用, ③連立不等式>, (5) 指数関数の最大値・最小値

## 【2】対数と対数関数

#### □ § 1 対数

- (1) 対数, 指数と対数の関係<①指数と対数の変換, ②対数の値>,(2) 対数の性質,(3) 底の変換,
- (4) 対数を他の対数で表す

#### □ § 2 対数関数

- (1) 対数関数のグラフ, (2) 対数関数の性質, (3) 対数を含む方程式, (4) 対数を含む不等式,
- (5) 置き換えを利用する方程式・不等式,指数方程式への応用(6)対数を含む関数の最大・最小

#### □§3 常用対数

(1) 常用対数,(2) 常用対数の利用<①析数/小数首位の問題,②対数と析数>

# 第5章 微分と積分

#### 【1】微分係数と導関数

## □§1 平均変化率と微分係数

(1) 平均変化率,(2) 極限値,(3) 微分係数

#### □ § 2 導関数

(1) 導関数の定義,(2) 公式による微分,(3) 関数の決定

## □§3 接線の方程式

(1) 接点が与えられている場合、(2) 接点が与えられていない場合、(3) 接線の方程式(応用問題)

## 【2】導関数の応用

#### □§1 関数の値の増加・減少

- (1) 関数の値の増加・減少、(2) 極大・極小、(3) 極値と関数の決定、(4) 3次関数が極値をもつ条件、
- (5) 4次関数のグラフ, 絶対値とグラフ, (6) 3次関数の最大・最小, (7) 最大・最小の文章題,
- (8) 最大・最小と関数の決定

#### 口§2 方程式·不等式への応用

(1) 方程式の実数解の個数<①3次方程式の実数解の個数,②文字を含む3次方程式の実数解の個数>,(2)3次不等式の証明

## 【3】積 分

### □§1 不定積分

(1) 不定積分、(2) 導関数から関数を求める、(3) 接線の傾きから関数を求める

#### □ § 2 定積分

- (1) 定積分、(2) 定積分の性質、関数 $(a_X + b)^n$ の微分と積分、(3) 関数の決定、定積分で表された関数、
- (4) 定積分で表された関数の極値

#### □ § 3 面積と定積分

- (1) 定積分と図形の面積<① $\chi$ 軸とでかこまれた部分の面積,②放物線間,放物線と直線間の面積>,
- (2) 放物線と接線に囲まれた部分の面積,2つの放物線とその共通接線,
- (3) 3次関数のグラフと直線で囲まれた部分の面積(4)絶対値を含む関数の定積分(5)面積の分割

# 高校数学B

# 第1章 数 列

#### 【1】等差数列•等比数列

- □ § 1 数列とその項
  - (1) 数列
- □ § 2 等差数列
  - (1) 初項, 公差, 一般項, (2) 等差数列の一般項,
  - (3) 等差数列の和<①等差数列の和,②自然数の和,③等差数列の和の最大値>
- □§3 等比数列
  - (1) 等比数列,(2) 等比数列の一般項,(3) 等比数列の和

## 【2】いろいろな数列

- **□§1** 和の記号 Σ
  - (1) 和の記号 Σ
- □§2 累乗の和
  - (1) 自然数の和, 自然数の平方の和, (2) 3乗の和, 等比数列の和
- □§3 階差数列
  - (1) 階差数列
- □§4 数列の和と一般項
  - (1) 数列の和と一般項
- □§5 いろいろな数列の和
  - (1) 分数数列の和,(2)(等差数列)×(等比数列)の和
- □§6 区画に分けた数列
  - (1) 群数列
- □§7 一般項が和の形の数列
  - (1) 一般項が等差数列, 一般項が等比数列
- □ § 8 格子点の個数
  - (1) 格子点の個数

# 【3】漸化式と数学的帰納法

- □§1 漸化式
  - (1) 漸化式の意味, 等差タイプ, 等比タイプ, (2) 特性方程式タイプ, (3) 階差タイプ, (4) n乗を含む漸化式,
  - (5) 分数をふくむ漸化式、(6) nの整式を含む漸化式、(7) 数列の和と一般項, S<sub>n</sub>を含む漸化式,
  - (8) 隣接3項間の漸化式< $0 \alpha \neq \beta$ ,  $2 \alpha \neq \beta$ ,  $\alpha = 1$ ,  $3 \alpha = \beta >$ ,
  - (9) 連立漸化式<①条件式がある、②条件式がない、③隣接3項間漸化式として解く>
- □ § 2 数学的帰納法
  - (1) 等式の証明、(2) 不等式の証明、(3) 整数の性質の証明、(4) 漸化式と数学的帰納法
- □§3 漸化式(発展問題)
  - (1) 図形と漸化式 < 領域の個数 > , (2) 確率と漸化式 < ①隣接2項間, ②隣接3項間 >

★講習会の日程,受講料等の詳細については、数専ゼミのホームページにてご案内しております。 → suusenn.com

【注】教材はすべて塾で用意します。(数専ゼミオリジナルプリント教材です。)

52年の指導実績 数学専門個別指導塾 数専ゼミ

山形市東原町二丁目10-8(サンエー前十字路西へ80m)

TEL 633-1086

URL suusenn.com

数専ゼミってどんな塾? 指導方針、授業の様子、学習・指導方法、教材などを紹介しております。 ⇒ <a href=">▶サイトマップ</a>